校園長室から

学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

・いのちを大切にできる子ども　・だれとでも仲良く協力し合う子ども
・意欲をもち学習する子ども　・ねばり強くはたらく子ども

令和８年９月 17 日 第 118 号

走り出した

今年の秋雨はしつこくて、なかなか運動場で遊ぶ時間がなくて、悶々としてる様子が伝わってきます。

学校が終わってからも外へ出れずに、ゲームや SNS ばかりになっていないか心配です。

新聞を読んでいますと、いよいよヨーロッパでも未成年の SNS 規制が実施されそうです。オーストラリアなど、すでに実施している国もあります。日本でも議論がはじまったところで、今後どうなっていくくか。意外と未成年者で規制してもらうほうがいいという意見を持っている人が多いとか。

さて、「ようやく」と嘆じたニュースが。令和７年度から東京都でいよいよ走りはじめるそうです、無人自動車が。

アメリカに出張によく行く友人がしょっちゅう言っていたのが、「アメリカの空港から目的地まで、当たり前のように無人自動車が走ってるけど、日本ではどうなっているのか」。

その無人自動車が走りはじめます。

走りはじめるとどうなるか。

少し考えてみると、無人自動車が普通に走りまわると、自動車を運転する必要がなくなります。わざわざ自家用車を買わなくても、アプリでボタンを押せば家の前までやってきてくれます。家に自動車がいらなくなると駐車場がいらない。ということは、家の建て方も変わってきます。

自動車が売れないということは、自動車が国の基幹産業である日本は、どうなるのか。考えていくとぞっとしますが、現実は述べた通り。

いよいよ次の時代も走りはじめました。